

欧州特許庁と中国国家知識産権局、中国語 - 英語間の機械翻訳サービスを開始

2012年12月7日
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁 (EPO) は、12月6日、同庁と中国国家知識産権局 (SIPO) とが、EPO の無料機械翻訳サービスである「Patent Translate」上で、中国語 - 英語間の機械翻訳サービスを開始した旨、同日にプレスリリースを行った。

本プレスリリースは、この結果、世界で最多の特許文献を数える二言語による蓄積文献が EPO のグローバル特許文献データベースである「Espacenet」を通じて同一のウェブサイト上でフルテキストデータとして統合され、両地域のイノベーターがそれぞれの言語を介して単一のツールを用いてアクセスできるようになったと報じた。この両庁共同の取組の結果、これまで7,500万件を数えた Espacenet の特許文献に、新たに400万件の中国語特許文献が加わることとなった。

このニュースは、同日、ブリュッセルで開催された両庁間の年次会合においてアナウンスされた。

パティステリ EPO 長官は、本サービスの開始について「特許情報の新しい次元を切り開くものであり、EPO と SIPO との間の緊密な協力関係のおかげで、(中国語と英語という) テクノロジー上もっとも重要な2つの言語で世界中のエンジニア、発明者、科学者が今や何百万もの特許文献に自由にアクセスできることとなった」と発言。その上で、「これは欧州のビジネス界の競争力強化に多大な貢献をするものであり、技術革新を行っている企業が中国の特許文献を調査しつつさらに彼ら自身の特許出願の内容を改善していくことによって研究開発目標をより適切に立案できることになるため、欧州経済全体に利する」と力説する。さらに、「特許庁も、日常の業務でこのサービスを利用することができ、特許付与業務の質に良い影響をもたらす。この一歩は、特許情報について EPO が果たす先導的役割を強調するものである」と続ける。

本プレスリリースによれば、田 SIPO 局長は、「自動化は SIPO と EPO との間の戦略的協力における重要な分野の一つであり、中国語 - 英語の機械翻訳はこれまでの良好な協力関係のさらなる集大成である」と、両庁間の過去25年間の協力の、そして2007年からの戦略的協力の最新の成果として、本件を強調。「2013年までには、中国の特許文献は1,000万件を突破することが見込まれており、2012年7月からそれらはPCT最小限資料にもなっているところ、この機械翻訳は欧州の知財制度利用者が中国語文献の言語障壁を直接的かつ効果的に克服する助けとなるであろう。その結果、中国と欧州との間での科学技術交流がさらに促進され、グローバルなイノベーションの進展に資するであろう」との見通しを語

る。

同プレスリリースは、これで「Patent Translate」は中国語を含めて 14 言語と英語との間で特許文献を検索しながらの翻訳が可能なツールとなり、2014 年までに、EPO の 38 の加盟国の 28 の公用語に加えて、中国語、日本語、韓国語、ロシア語の機械翻訳が可能になる見込みと報じている。

両庁は、2010 年 9 月には英語 - 中国語の機械翻訳の辞書構築について、さらに、2011 年 11 月には機械翻訳ツールの提供について、それぞれ協力を行っていく旨を合意していた。

— EPO による本プレスリリースは、以下参照 —

[EPO and SIPO launch Chinese-English machine translation for patents](#)

— EPO と SIPO との英語 - 中国語間の機械翻訳の協力についての合意に関する欧州知的財産ニュースは、それぞれ以下参照 —

[欧州特許庁、中国国家知識産権局と機械翻訳の協力を合意（2010 年 9 月 15 日）（PDF）](#)

[欧州特許庁、中国国家知識産権局と機械翻訳ツールの提供に向けた協力を合意（2011 年 11 月 30 日）（PDF）](#)

— EPO の機械翻訳ツール「Patent Translate」に関する最近のプレスリリースに関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[欧州特許庁、新たに 7 言語の機械翻訳サービスを提供開始（2012 年 10 月 28 日）（PDF）](#)

(以上)